

コースロープ取扱説明書

コースロープ TF-60G25

この度はコースロープをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用になられる前に本書をよくお読みいただき、また必ず保管し正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

《 部品構成 》

まずはじめに、部品点数および数量をご確認ください。

品 名	数 量	材 質
フロートセット	1	ポリエチレン製
フック付ワイヤー (25m)	1	直径5m/m ステンレス製 ビニール被覆付
クリップ	1	ステンレス製
タンバックル	1	ステンレス製
タンバックルカバー	1	ビニール製

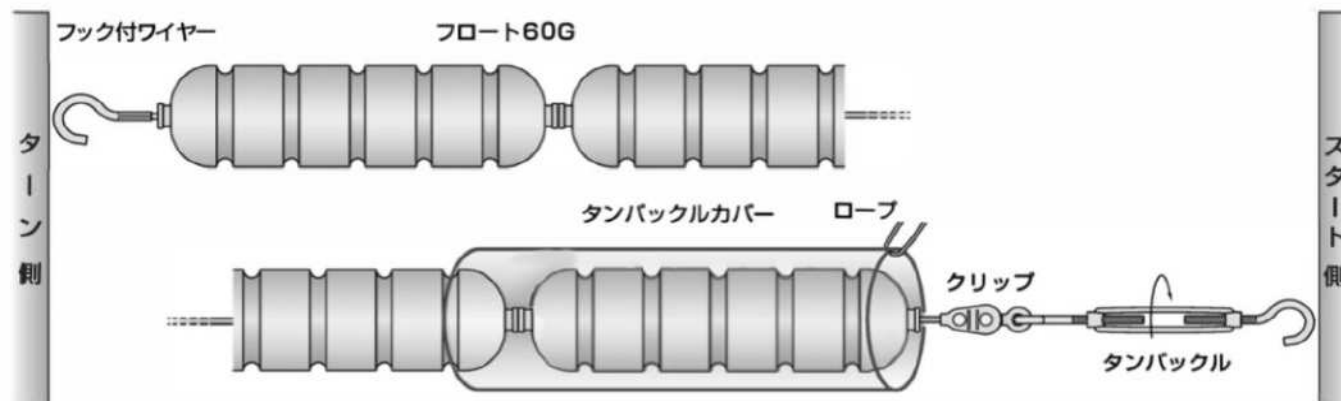
万一部品不足の場合はメーカーにご請求ください。

⚠ 使用上のご注意

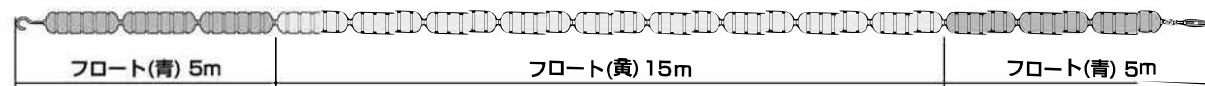
- 当製品は競泳を目的としたプール用として設計されていますので、それ以外の目的では使用しないでください。
- コースロープにつかまったり、乗ったりしないでください。
- フロートが割れた場合や、ワイヤーのビニール被覆が破れてきたらすみやかに取り替えてください。
- 作業中プールへ落ちないようにご注意ください。
- 使用しない場合は、別売りの巻取器に巻取り、カバーを掛けて直射日光を避け、風通しのよい湿気のない所に保管してください。
- コースロープの取扱説明書は、いつでも読める所に必ず保管してください。
- 組立ての時には、部品を踏んだりつまずいたりしないようまたプールサイドは滑り易いので十分ご注意ください。
- コースロープを張ったままの状態では排水しないでください。
- コースロープをはずす場合は、プールサイドにたたくつけないように持ち上げてください。
- フロートのひび割れ破損・ワイヤーのささくれ・ビニール被覆の破損・ワイヤークリップのボルトの緩みがないか日常点検を行い、異常が確認されたら修理・交換等の適切な処置をしてください。



組立の際は説明書に従がい、軍手および靴等をしっかり着用して複数名で作業を行ってください。またプールの水が満水時に作業を行ない、部材や工具等でケガをしないように安全には充分にご注意ください。



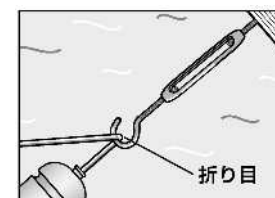
配列図



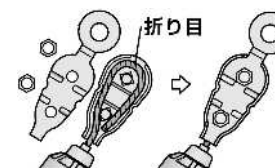
《 組立方法 》

1. コースロープフック付ワイヤーのフックをプールターン側本体のフックに引っ掛け、プールサイドに添ってスタート側へ伸ばします。
2. タンバックルカバーをコースロープに通してください。
3. タンバックルにワイヤーの長さをあわせ、ワイヤーカッターでワイヤーを切りクリップを取り付けます。その際ワイヤー先端のビニール被覆をカッター等で15cm程度取り除き、クリップのケーシングからワイヤー端部がはみ出さないようセットしてください。(右図参照)
4. クリップとタンバックルを連結し、タンバックル中央部を廻してコースロープを強く張ってください。
5. 最後にタンバックルカバーをタンバックルにかぶるようにして付属ロープでプール本体フックに固定し完成です。

※タンバックルカバーは安全のため必ずご使用ください。



①タンバックルが伸びきった状態でプール本体のフックに掛けます。次にフロートが隙間無く並んでいるのを確認してタンバックルにワイヤーを掛け、しっかり張った状態でワイヤーに折り目(印)をつけてください。



②ワイヤーのビニール被覆を剥がし、折り目がクリップの先端になる位置に取り付け、ワイヤーの端部がクリップよりはみ出ないように切断し、スパナを使ってナットをしっかりと締め付けてください。

お気づきの点やお問い合わせは、販売店または弊社へお尋ねください。

コースロープ取扱説明書

日本水泳連盟公認品



コースロープ TF-6025

この度はコースロープをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用になられる前に本書をよくお読みいただき、また必ず保管し正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

《部品構成》

まずはじめに、部品点数および数量をご確認ください。

品名	数量	材質
フロートセット	1	ポリエチレン製
フック付ワイヤー (25m)	1	直径5mmステンレス製 ビニール被覆付
クリップ	1	ステンレス製
タンバクル	1	ステンレス製
タンバクルカバー	1	ビニール製

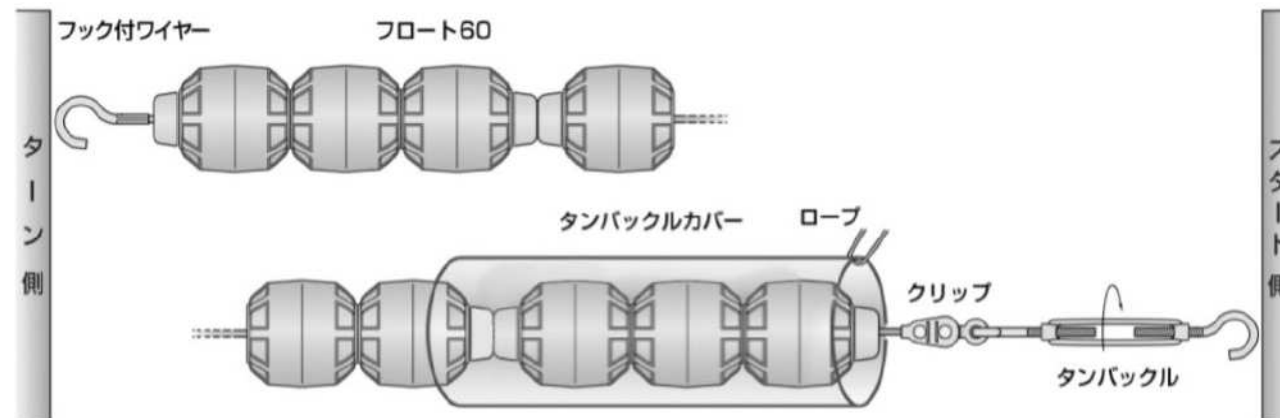
万一部品不足の場合はメーカーにご請求ください。

⚠ 使用上のご注意

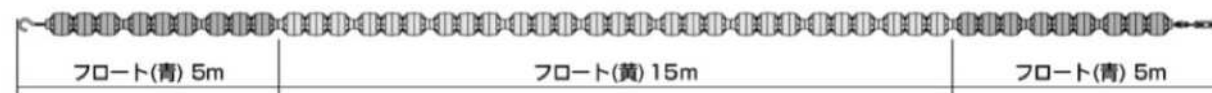
- 当製品は競泳を目的としたプール用として設計されていますので、それ以外の目的では使用しないでください。
- コースロープにつかまったり、乗ったりしないでください。
- フロートが割れた場合や、ワイヤーのビニール被覆が破れてきたらすみやかに取り替えてください。
- 作業中プールへ落ちないようにご注意ください。
- 使用しない場合は、別売りの巻取器に巻取り、カバーを掛けて直射日光を避け、風通しのよい湿気のない所に保管してください。
- コースロープの取扱説明書は、いつでも読める所に必ず保管してください。
- 組立ての時には、部品を踏んだりつまんだりしないようまたプールサイドは滑り易いので十分ご注意ください。
- コースロープを張ったままの状態では排水しないでください。
- コースロープをはずす場合は、プールサイドにたたくつけないように持ち上げてください。
- フロートのひび割れ破損・ワイヤーのささくれ・ビニール被覆の破損・ワイヤークリップのボルトの緩みがないか日常点検を行い、異常が確認されたら修理・交換等の適切な処置をしてください。



組立の際は説明書に従がい、軍手および靴等をしっかり着用して複数名で作業を行ってください。またプールの水が満水時に作業を行ない、部材や工具等でケガをしないように安全には充分にご注意ください。



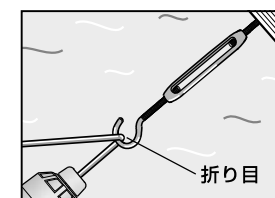
配列図



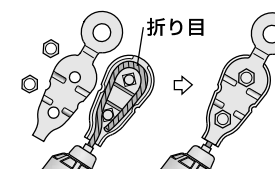
《組立方法》

1. コースロープフック付ワイヤーのフックをプールターン側本体のフックに引っ掛け、プールサイドに添ってスタート側へ伸ばします。
2. タンバクルカバーをコースロープに通してください。
3. タンバクルにワイヤーの長さをあわせ、ワイヤーカッターでワイヤーを切りクリップを取り付けます。その際ワイヤー先端のビニール被覆をカッター等で15cm程度取り除き、クリップのケーシングからワイヤー端部がはみ出さないようセットしてください。(右図参照)
4. クリップとタンバクルを連結し、タンバクル中央部を廻してコースロープを強く張ってください。
5. 最後にタンバクルカバーをタンバクルにかぶるようにして付属ロープでプール本体フックに固定し完成です。

※タンバクルカバーは安全のため必ずご使用ください。



①タンバクルが伸びきった状態でプール本体のフックに掛けます。次にフロートが隙間無く並んでいるのを確認してタンバクルにワイヤーを掛け、しっかり張った状態でワイヤーに折り目(印)をつけてください。



②ワイヤーのビニール被覆を剥がし、折り目がクリップの先端になる位置に取り付け、ワイヤーの端部がクリップよりはみ出ないように切断し、スパナを使ってナットをしっかりと締め付けてください。

お気づきの点やお問い合わせは、販売店または弊社へお尋ねください。

無断転載禁止

コースロープ取扱説明書

日本水泳連盟公認品



コースロープ TF-7525

この度はコースロープをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用になられる前に本書をよくお読みいただき、また必ず保管し正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

《 部品構成 》

まずはじめに、部品点数および数量をご確認ください。

品 名	数 量	材 質
フロートセット	1	ポリエチレン製
ボールシャンク付ワイヤー (25m)	1	直径5mmステンレス製 ビニール被覆付
ボールシャンククリップ	1	ステンレス製
クリップ	1	ステンレス製
タンバックル	1	ステンレス製
タンバックルカバー	1	ビニール製

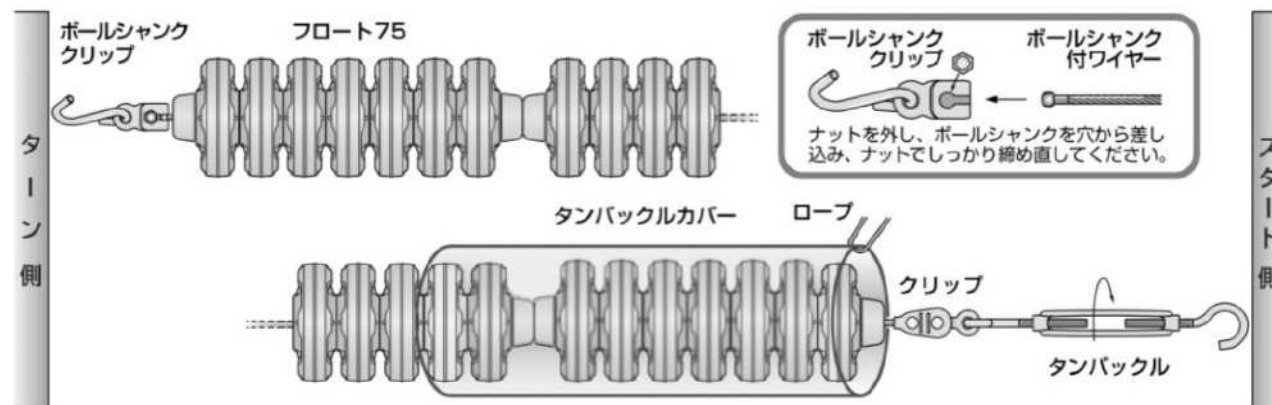
万一部品不足の場合はメーカーにご請求ください。

⚠ 使用上のご注意

- 当製品は競泳を目的としたプール用として設計されていますので、それ以外の目的では使用しないでください。
- コースロープにつかまったり、乗ったりしないでください。
- フロートが割れた場合や、ワイヤーのビニール被覆が破れてきたらすみやかに取り替えてください。
- 作業中プールへ落ちないようにご注意ください。
- 使用しない場合は、別売りの巻取器に巻取り、カバーを掛けて直射日光を避け、風通しのよい湿気のない所に保管してください。
- コースロープの取扱説明書は、いつでも読める所に必ず保管してください。
- 組立ての時には、部品を踏んだりつまずいたりしないようまたプールサイドは滑り易いので十分ご注意ください。
- コースロープを張ったままの状態では排水しないでください。
- コースロープをはずす場合は、プールサイドにたたくつけないように持ち上げてください。
- フロートのひび割れ破損・ワイヤーのささくれ・ビニール被覆の破損・ワイヤークリップのボルトの緩みがないか日常点検を行い、異常が確認されたら修理・交換等の適切な処置をしてください。



組立の際は説明書に従がい、軍手および靴等をしっかり着用して複数名で作業を行ってください。またプールの水が満水時に作業を行ない、部材や工具等でケガをしないように安全には充分にご注意ください。



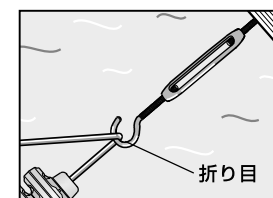
配列図



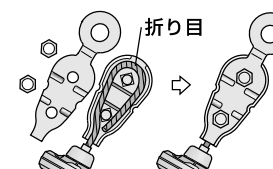
《 組立方法 》

1. コースロープのボールシャンククリップをプールターン側本体のフックに引っ掛け、プールサイドに添ってスタート側へ伸ばします。
2. タンバックルカバーをコースロープに通してください。
3. タンバックルにワイヤーの長さをあわせ、ワイヤーカッターでワイヤーを切りクリップを取り付けます。その際ワイヤー先端のビニール被覆をカッター等で15cm程度取り除き、クリップのケーシングからワイヤー端部がはみ出さないようセットしてください。(右図参照)
4. クリップとタンバックルを連結し、タンバックル中央部を廻してコースロープを強く張ってください。
5. 最後にタンバックルカバーをタンバックルにかぶるようにして付属ロープでプール本体フックに固定し完成です。

※タンバックルカバーは安全のため必ずご使用ください。



①タンバックルが伸びきった状態でプール本体のフックに掛けます。次にフロートが隙間無く並んでいるのを確認してタンバックルにワイヤーを掛け、しっかり張った状態でワイヤーに折り目(印)をつけます。



②ワイヤーのビニール被覆を剥がし、折り目がクリップの先端になる位置に取り付け、ワイヤーの端部がクリップよりはみ出ないように切断し、スパナを使ってナットをしっかりと締め付けてください。

お気づきの点やお問い合わせは、販売店または弊社へお尋ねください。

無断転載禁止

コースロープ取扱説明書

日本水泳連盟公認品



コースロープ TF-8025

この度はコースロープをお買い上げいただき

ありがとうございます。

ご使用になられる前に本書をよくお読みいただき、また必ず
保管し正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

《 部品構成 》

まずはじめに、部品点数および数量をご確認ください。

品 名	数 量	材 質
フロートセット	1	ポリプロピレン製
ボールシャンク付ワイヤー (25m)	1	直径5mmステンレス製 ビニール被覆付
ボールシャンククリップ	1	ステンレス製
クリップ	1	ステンレス製
セーフティリール	1	真鍮製
タンバックルカバー	1	ビニール製

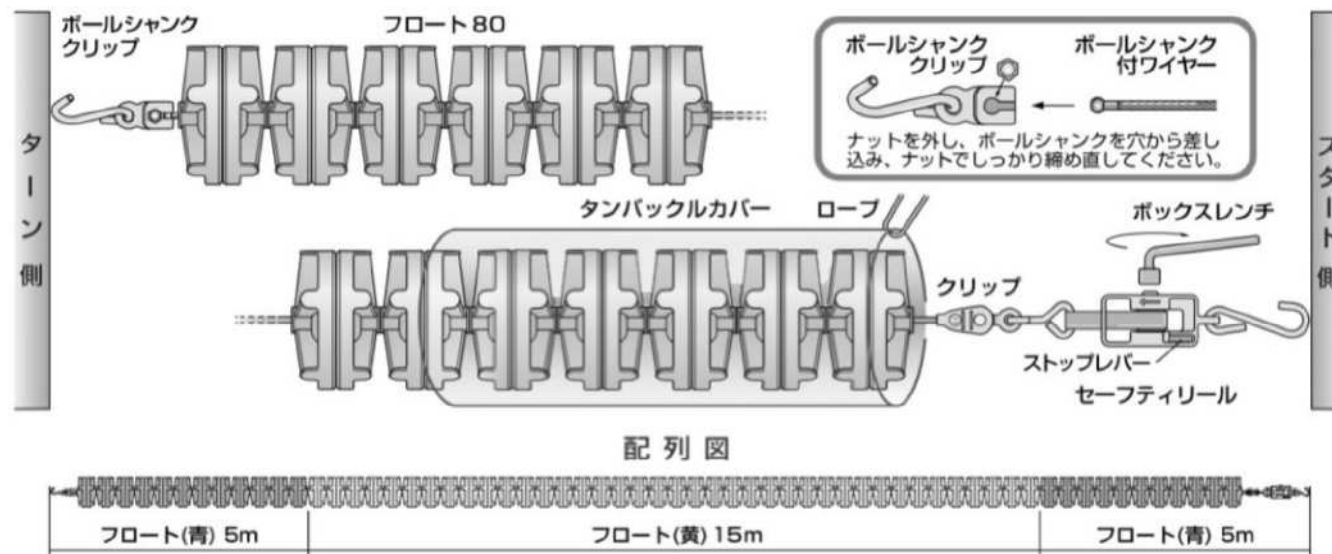
万一部品不足の場合はメーカーにご請求ください。

⚠ 使用上のご注意

- 当製品は競泳を目的としたプール用として設計されていますので、それ以外の目的では使用しないでください。
- コースロープにつかまったり、乗ったりしないでください。
- フロートが割れた場合や、ワイヤーのビニール被覆が破れてきたらすみやかに取り替えてください。
- 作業中プールへ落ちないようにご注意ください。
- 使用しない場合は、別売りの巻取器に巻取り、カバーを掛けて直射日光を避け、風通しのよい湿気のない所に保管してください。
- コースロープの取扱説明書は、いつでも読める所に必ず保管してください。
- 組立ての時には、部品を踏んだりつまずいたりしないようまたプールサイドは滑り易いので十分ご注意ください。
- コースロープを張ったままの状態では排水しないでください。
- コースロープをはずす場合は、プールサイドにたたくつけないように持ち上げてください。
- フロートのひび割れ破損・ワイヤーのささくれ・ビニール被覆の破損・ワイヤークリップのボルトの緩みがないか日常点検を行い、異常が確認されたら修理・交換等の適切な処置をしてください。

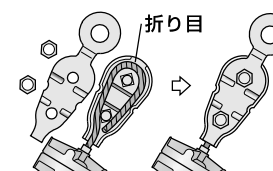
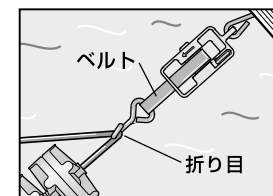


組立の際は説明書に従がい、軍手および靴等をしっかり着用して複数名で作業を行ってください。またプールの水が満水時に作業を行ない、部材や工具等でケガをしないように安全には充分にご注意ください。



《 組立方法 》

1. コースロープのボールシャンククリップをプールターン側本体のフックに引っ掛け、プールサイドに添ってスタート側へ伸ばします。
2. タンバックルカバーをコースロープに通してください。
3. セーフティリールにワイヤーの長さをあわせ、ワイヤーカッターでワイヤーを切りクリップを取り付けます。その際ワイヤー先端のビニール被覆をカッター等で15cm程度取り除き、クリップのケーシングからワイヤー端部がはみ出さないようセットしてください。(右図参照)
4. クリップとセーフティリールを連結し、付属のボックスレンチを時計方向に廻し、ワイヤーを張ってください。
5. 最後にタンバックルカバーをタンバックルにかぶるようにして付属ロープでプール本体フックに固定し完成です。
6. コースロープを外す場合はボックスレンチを時計方向に少し廻し、ストップレバーを押してください。その際ワイヤーによる急逆転方向の反発が生じますのでボックスレンチをしっかりと握り、ゆっくりと解除してください。



お気づきの点やお問い合わせは、販売店または弊社へお尋ねください。

無断転載禁止

コースロープ取扱説明書

日本水泳連盟公認品



コースロープ TF-11025

この度はコースロープをお買い上げいただき

ありがとうございます。

ご使用になられる前に本書をよくお読みいただき、また必ず保管し正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

《 部品構成 》

まずはじめに、部品点数および数量をご確認ください。

品 名	数 量	材 質
フロートセット	1	ポリプロピレン製
ボールシャンク付ワイヤー (25m)	1	直径5mmステンレス製 ビニール被覆付
ボールシャンククリップ	1	ステンレス製
クリップ	1	ステンレス製
セーフティリール	1	真鍮製
タンバクルカバー	1	ビニール製

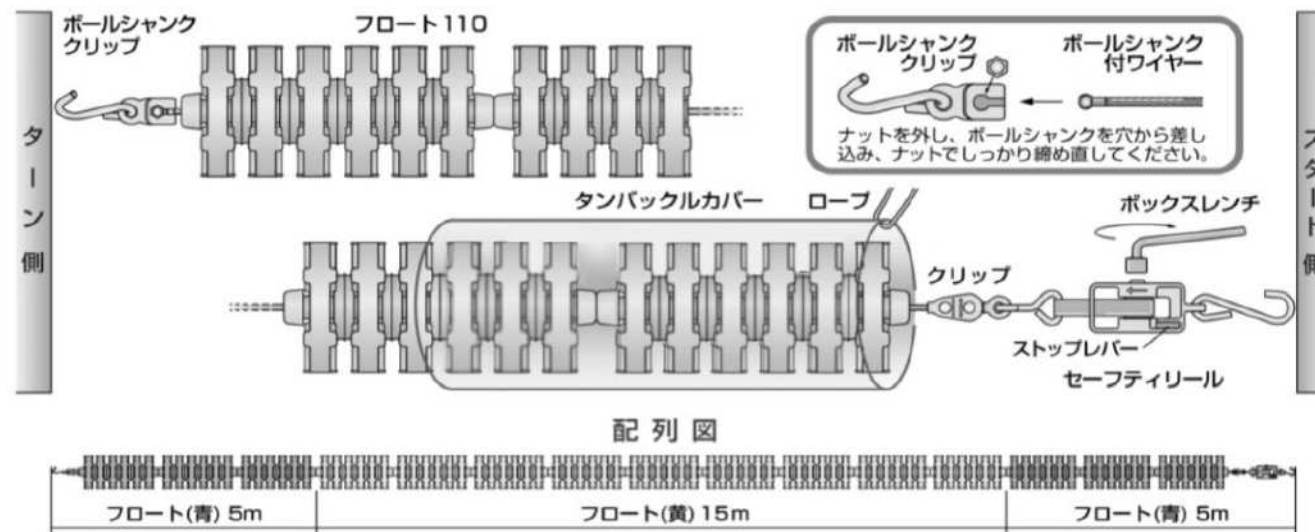
万一部品不足の場合はメーカーにご請求ください。

⚠ 使用上のご注意

- 当製品は競泳を目的としたプール用として設計されていますので、それ以外の目的では使用しないでください。
- コースロープにつかまったり、乗ったりしないでください。
- フロートが割れた場合や、ワイヤーのビニール被覆が破れてきたらすみやかに取り替えてください。
- 作業中プールへ落ちないようにご注意ください。
- 使用しない場合は、別売りの巻取器に巻取り、カバーを掛けて直射日光を避け、風通しのよい湿気のない所に保管してください。
- コースロープの取扱説明書は、いつでも読める所に必ず保管してください。
- 組立ての時には、部品を踏んだりつまんだりしないようまたプールサイドは滑り易いので十分ご注意ください。
- コースロープを張ったままの状態では排水しないでください。
- コースロープをはずす場合は、プールサイドにたたくつけないように持ち上げてください。
- フロートのひび割れ破損・ワイヤーのささくれ・ビニール被覆の破損・ワイヤークリップのボルトの緩みがないか日常点検を行い、異常が確認されたら修理・交換等の適切な処置をしてください。

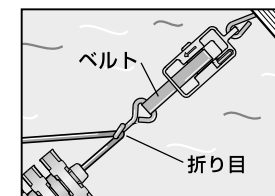


組立の際は説明書に従がい、軍手および靴等をしっかり着用して複数名で作業を行ってください。またプールの水が満水時に作業を行ない、部材や工具等でケガをしないように安全には充分にご注意ください。

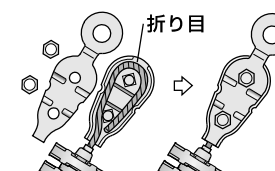


《 組立方法 》

1. コースロープのボールシャンククリップをプールターン側本体のフックに引っ掛け、プールサイドに添ってスタート側へ伸ばします。
2. タンバクルカバーをコースロープに通してください。
3. セーフティリールにワイヤーの長さをあわせ、ワイヤークッターでワイヤーを切りクリップを取り付けます。その際ワイヤー先端のビニール被覆をカッター等で15cm程度取り除き、クリップのケーシングからワイヤー端部がはみ出さないようセットしてください。(右図参照)
4. クリップとセーフティリールを連結し、付属のボックスレンチを時計方向に回し、ワイヤーを張ってください。
5. 最後にタンバクルカバーをタンバクルにかぶるようにして付属ロープでプール本体フックに固定し完成です。
6. コースロープを外す場合はボックスレンチを時計方向に少し回し、ストップレバーを押してください。その際ワイヤーによる急逆転方向の反発が生じますのでボックスレンチをしっかりと握り、ゆっくりと解除してください。



①セーフティリールのベルトが伸びきった状態でプール本体のフックに掛けます。次にフロートが隙間無く並んでいるのを確認してセーフティリールにワイヤーを掛けしっかり張った状態でワイヤーに折り目(印)をつけてください。



②ワイヤーのビニール被覆を剥がし、折り目がクリップの先端になる位置に取り付け、ワイヤーの端部がクリップよりはみ出ないように切断し、スパナを使ってナットをしっかりと締め付けてください。

お気づきの点やお問い合わせは、販売店または弊社へお尋ねください。

無断転載禁止

コースロープ取扱説明書

日本水泳連盟公認品



コースロープ TF-15025

この度はコースロープをお買い上げいただき

ありがとうございます。

ご使用になれる前に本書をよくお読みいただき、また必ず
保管し正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

《 部品構成 》

まずはじめに、部品点数および数量をご確認ください。

品 名	数 量	材 質
フロートセット	1	ポリプロピレン製
ボールシャンク付ワイヤー (25m)	1	直径5m/mステンレス製 ビニール被覆付
ボールシャンククリップ	1	ステンレス製
クリップ	1	ステンレス製
セーフティリール	1	真鍮製
タンバックルカバー	1	ビニール製

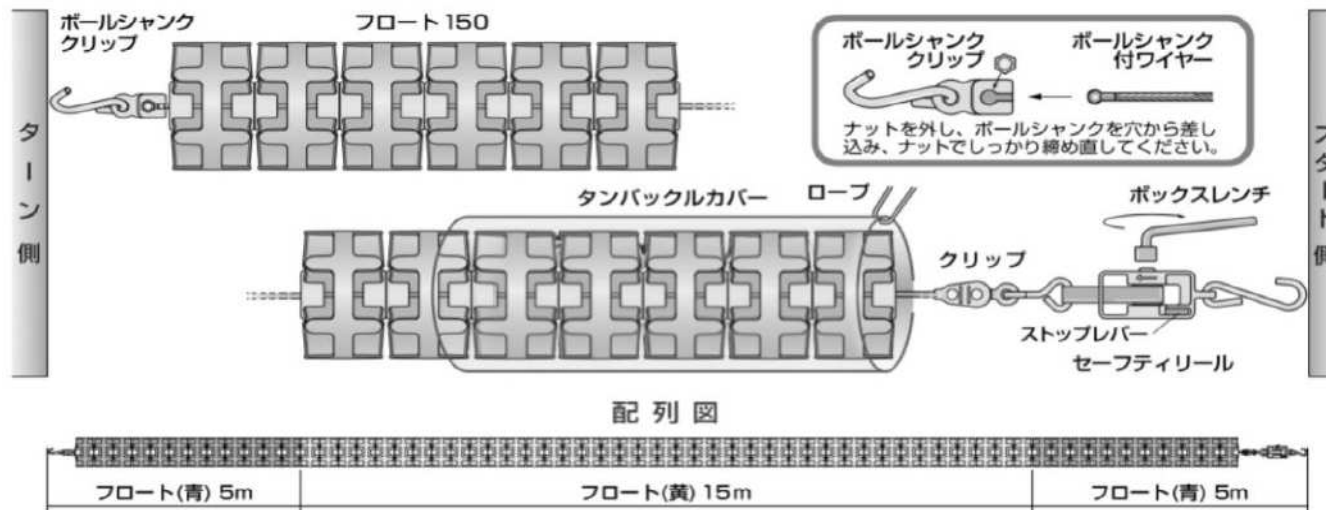
万一部品不足の場合はメーカーにご請求ください。

⚠ 使用上のご注意

- 当製品は競泳を目的としたプール用として設計されていますので、それ以外の目的では使用しないでください。
- コースロープにつかまったり、乗ったりしないでください。
- フロートが割れた場合や、ワイヤーのビニール被覆が破れてきたらすみやかに取り替えてください。
- 作業中プールへ落ちないようにご注意ください。
- 使用しない場合は、別売りの巻取器に巻取り、カバーを掛けて直射日光をさけ、風通しのよい湿気のない所に保管してください。
- コースロープの取扱説明書は、いつでも読める所に必ず保管してください。
- 組立ての時には、部品を踏んだりつまずいたりしないようまたプールサイドは滑り易いので十分ご注意ください。
- コースロープを張ったままの状態では排水しないでください。
- コースロープをはずす場合は、プールサイドにたたくつけないように持ち上げてください。
- フロートのひび割れ破損・ワイヤーのささくれ・ビニール被覆の破損・ワイヤークリップのボルトの緩みがないか日常点検を行い、異常が確認されたら修理・交換等の適切な処置をしてください。

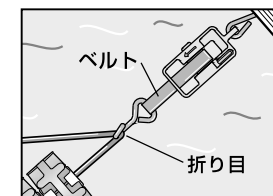


組立の際は説明書に従がい、軍手および靴等をしっかり着用して複数名で作業を行ってください。またプールの水が満水時に作業を行ない、部材や工具等でケガをしないように安全には充分にご注意ください。

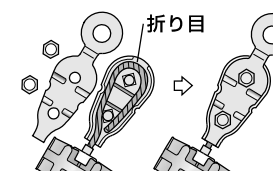


《 組立方法 》

1. コースロープのボールシャンククリップをプールターン側本体のフックに引っ掛け、プールサイドに添ってスタート側へ伸ばします。
2. タンバックルカバーをコースロープに通してください。
3. セーフティリールにワイヤーの長さをあわせ、ワイヤークッターでワイヤーを切りクリップを取り付けます。その際ワイヤー先端のビニール被覆をカッター等で15cm程度取り除き、クリップのケーシングからワイヤー端部がはみ出さないようセットしてください。(右図参照)
4. クリップとセーフティリールを連結し、付属のボックスレンチを時計方向に回し、ワイヤーを張ってください。
5. 最後にタンバックルカバーをタンバックルにかぶるようにして付属ロープでプール本体フックに固定し完成です。
6. コースロープを外す場合はボックスレンチを時計方向に少し回し、ストップレバーを押してください。その際ワイヤーによる急逆転方向の反発が生じますのでボックスレンチをしっかりと握り、ゆっくりと解除してください。



①セーフティリールのベルトが伸びきった状態でプール本体のフックに掛けます。次にフロートが隙間無く並んでいるのを確認してセーフティリールにワイヤーを掛けしっかり張った状態でワイヤーに折り目(印)をつけてください。



②ワイヤーのビニール被覆を剥がし、折り目がクリップの先端になる位置に取り付け、ワイヤーの端部がクリップよりはみ出ないように切断し、スパナを使ってナットをしっかりと締め付けてください。

お気づきの点やお問い合わせは、販売店または弊社へお尋ねください。

無断転載禁止

コースロープ取扱説明書

日本水泳連盟公認品



コースロープ TH-8525

この度はコースロープをお買い上げいただき

ありがとうございます。

ご使用になられる前に本書をよくお読みいただき、また必ず保管し正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

《 部品構成 》

まずはじめに、部品点数および数量をご確認ください。

品 名	数 量	材 質
フロートセット	1	ポリプロピレン製
ボールシャンク付ワイヤー (25m)	1	直径5mmステンレス製 ビニール被覆付
ボールシャンククリップ	1	ステンレス製
クリップ	1	ステンレス製
セーフティリール	1	真鍮製
タンバックルカバー	1	ビニール製

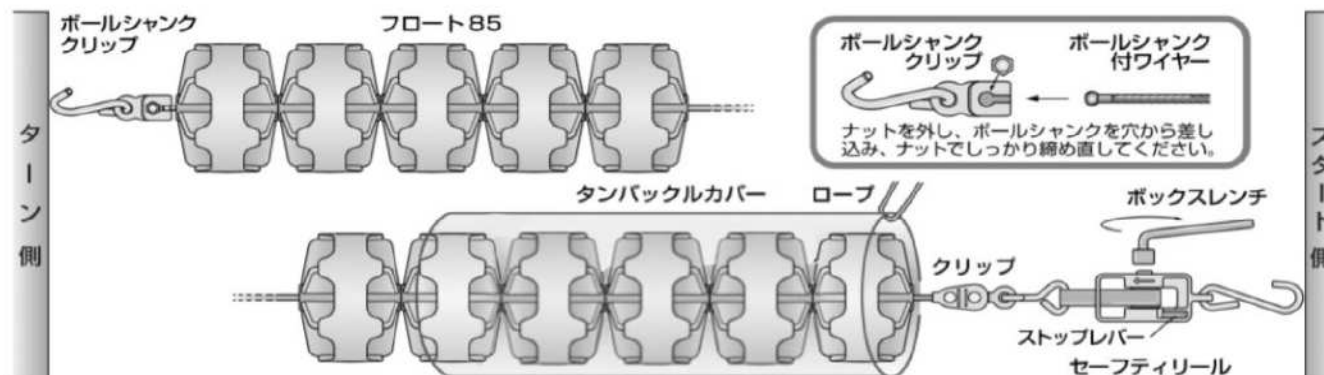
万一部品不足の場合はメーカーにご請求ください。

⚠ 使用上のご注意

- 当製品は競泳を目的としたプール用として設計されていますので、それ以外の目的では使用しないでください。
- コースロープにつかまったり、乗ったりしないでください。
- フロートが割れた場合や、ワイヤーのビニール被覆が破れてきたらすみやかに取り替えてください。
- 作業中プールへ落ちないようにご注意ください。
- 使用しない場合は、別売りの巻取器に巻取り、カバーを掛けて直射日光を避け、風通しのよい湿気のない所に保管してください。
- コースロープの取扱説明書は、いつでも読める所に必ず保管してください。
- 組立ての時には、部品を踏んだりつまずいたりしないようまたプールサイドは滑り易いので十分ご注意ください。
- コースロープを張ったままの状態では排水しないでください。
- コースロープをはずす場合は、プールサイドにたたくつけないように持ち上げてください。
- フロートのひび割れ破損・ワイヤーのささくれ・ビニール被覆の破損・ワイヤークリップのボルトの緩みがないか日常点検を行い、異常が確認されたら修理・交換等の適切な処置をしてください。



組立の際は説明書に従がい、軍手および靴等をしっかり着用して複数名で作業を行ってください。またプールの水が満水時に作業を行ない、部材や工具等でケガをしないように安全には充分にご注意ください。

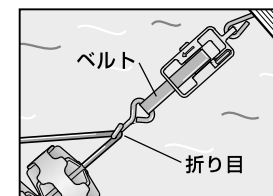


配列図

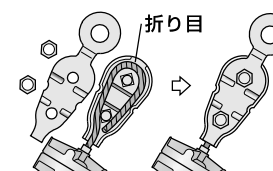


《 組立方法 》

1. コースロープのボールシャンククリップをプールターン側本体のフックに引っ掛け、プールサイドに添ってスタート側へ伸ばします。
2. タンバックルカバーをコースロープに通してください。
3. セーフティリールにワイヤーの長さをあわせ、ワイヤーカッターでワイヤーを切りクリップを取り付けます。その際ワイヤー先端のビニール被覆をカッター等で15cm程度取り除き、クリップのケーシングからワイヤー端部がはみ出さないようセットしてください。(右図参照)
4. クリップとセーフティリールを連結し、付属のボックスレンチを時計方向に廻し、ワイヤーを張ってください。
5. 最後にタンバックルカバーをタンバックルにかぶるようにして付属ロープでプール本体フックに固定し完成です。
6. コースロープを外す場合はボックスレンチを時計方向に少し廻し、ストップレバーを押してください。その際ワイヤーによる急逆転方向の反発が生じますのでボックスレンチをしっかりと握り、ゆっくりと解除してください。



①セーフティリールのベルトが伸びきった状態でプール本体のフックに掛けます。次にフロートが隙間無く並んでいるのを確認してセーフティリールにワイヤーを掛けしっかり張った状態でワイヤーに折り目(印)をつけてください。



②ワイヤーのビニール被覆を剥がし、折り目がクリップの先端になる位置に取り付け、ワイヤーの端部がクリップよりはみ出ないように切断し、スパナを使ってナットをしっかりと締め付けてください。

お気づきの点やお問い合わせは、販売店または弊社へお尋ねください。

無断転載禁止

コースロープ取扱説明書

日本水泳連盟公認品



コースロープ TH-11025

この度はコースロープをお買い上げいただき

ありがとうございます。

ご使用になられる前に本書をよくお読みいただき、また必ず保管し正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

《 部品構成 》

まずはじめに、部品点数および数量をご確認ください。

品 名	数 量	材 質
フロートセット	1	ポリプロピレン製
ボールシャンク付ワイヤー (25m)	1	直径5mmステンレス製 ビニール被覆付
ボールシャンククリップ	1	ステンレス製
クリップ	1	ステンレス製
セーフティリール	1	真鍮製
タンバックルカバー	1	ビニール製

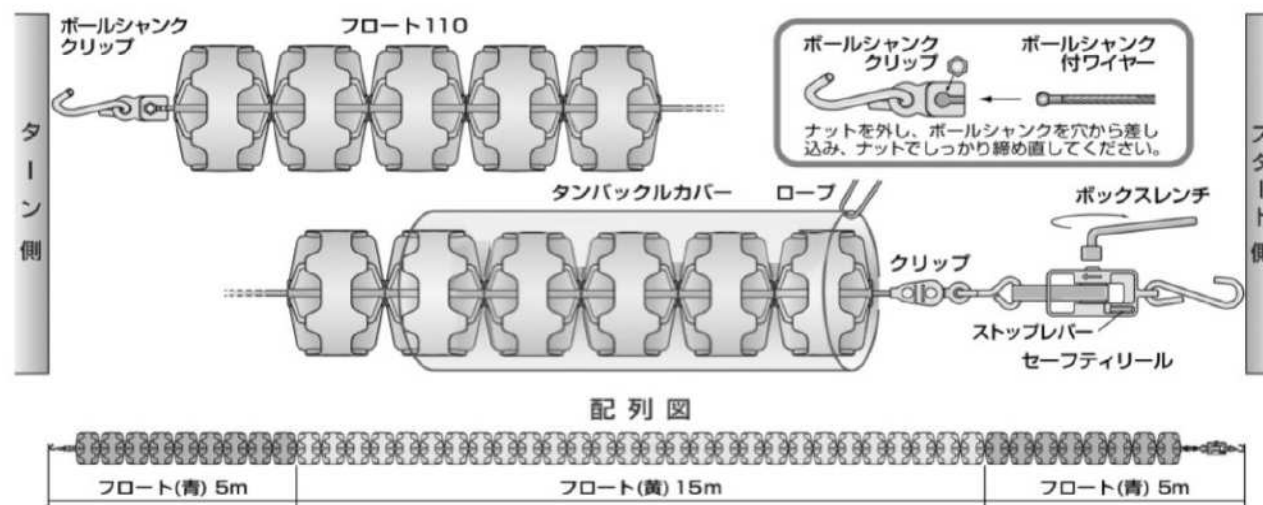
万一部品不足の場合はメーカーにご請求ください。

⚠ 使用上のご注意

- 当製品は競泳を目的としたプール用として設計されていますので、それ以外の目的では使用しないでください。
- コースロープにつかまったり、乗ったりしないでください。
- フロートが割れた場合や、ワイヤーのビニール被覆が破れてきたらすみやかに取り替えてください。
- 作業中プールへ落ちないようにご注意ください。
- 使用しない場合は、別売りの巻取器に巻取り、カバーを掛けて直射日光を避け、風通しのよい湿気のない所に保管してください。
- コースロープの取扱説明書は、いつでも読める所に必ず保管してください。
- 組立ての時には、部品を踏んだりつまずいたりしないようまたプールサイドは滑り易いので十分ご注意ください。
- コースロープを張ったままの状態では排水しないでください。
- コースロープをはずす場合は、プールサイドにたたくつけないように持ち上げてください。
- フロートのひび割れ破損・ワイヤーのささくれ・ビニール被覆の破損・ワイヤークリップのボルトの緩みがないか日常点検を行い、異常が確認されたら修理・交換等の適切な処置をしてください。

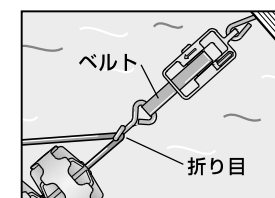


組立の際は説明書に従がい、軍手および靴等をしっかり着用して複数名で作業を行ってください。またプールの水が満水時に作業を行ない、部材や工具等でケガをしないように安全には充分にご注意ください。

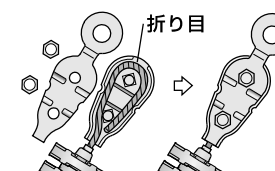


《 組立方法 》

1. コースロープのボールシャンククリップをプールターン側本体のフックに引っ掛け、プールサイドに添ってスタート側へ伸ばします。
2. タンバックルカバーをコースロープに通してください。
3. セーフティリールにワイヤーの長さをあわせ、ワイヤークッターでワイヤーを切りクリップを取り付けます。その際ワイヤー先端のビニール被覆をカッター等で15cm程度取り除き、クリップのケーシングからワイヤー端部がはみ出さないようセットしてください。(右図参照)
4. クリップとセーフティリールを連結し、付属のボックスレンチを時計方向に廻し、ワイヤーを張ってください。
5. 最後にタンバックルカバーをタンバックルにかぶるようにして付属ロープでプール本体フックに固定し完成です。
6. コースロープを外す場合はボックスレンチを時計方向に少し廻し、ストップレバーを押してください。その際ワイヤーによる急逆転方向の反発が生じますのでボックスレンチをしっかりと握り、ゆっくりと解除してください。



①セーフティリールのベルトが伸びきった状態でプール本体のフックに掛けます。次にフロートが隙間無く並んでいるのを確認してセーフティリールにワイヤーを掛け、しっかり張った状態でワイヤーに折り目(印)をつけてください。



②ワイヤーのビニール被覆を剥がし、折り目がクリップの先端になる位置に取り付け、ワイヤーの端部がクリップよりはみ出ないように切断し、スパナを使ってナットをしっかりと締め付けてください。

お気づきの点やお問い合わせは、販売店または弊社へお尋ねください。

無断転載禁止